

《 南山からナムサンへ 》

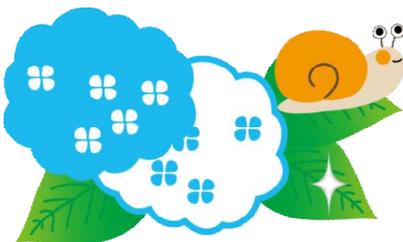
"Ekde Nanzan ĝis Namsan"

- 講師 D-ro MARKUS Gabor (マールクシュ・ガーボル氏)
- 日時 2013年6月15日(土) 14:00~16:00
- 場所 早稲田エスペラント会館 4階教室
- 用語 エスペラント ※通訳はつきません。
- 参加費 500円
- 申込先 日本エスペラント協会研究教育部



"En tiu prelego mi povas trakti la temon, ke mi fariĝis Esperantisto en Nanzan Daigaku en Nagoya kaj poste pere de la internacia lingvo mi travojaĝis la tutan mondon kaj konstruis valorajn internaciajn amikajn interrilatojn kun multaj homoj en kvin kontinentoj. La lasta loko, kie mi vivis per Esperanto estis Namsan (distrikto en la korea cxefurbo) kaj la ebleco, kiun la internacia lingvo donis al mi, certe signifeca riĉigis mian vivon."

南山大学(名古屋市)に留学中にエスペ란ティストとなり、その後エスペラントを使って世界中を旅してまわり、5つの大陸で多くの人々と得難い友好関係を築いたガーボルさん。エスペ란ティストとして最近訪れたのは韓国・ソウルのナムサン地区。エスペラントが与えてくれた可能性がいかに自分の人生を豊かにしてくれたことか。南山に始まりナムサンまで続く、興味深い講演が期待されます。



講師について：1948年ハンガリー生まれ、1972年ブタペシュト経済大学卒業。1982年、名古屋の南山大学に留学、1990年代には国営石油公団の戦略マネジャー。1993年、ハンガリーがEU加盟を決めたときに会計検査院長となり、国内のシステムをEU基準に合致させる任務にあたった。著書、記事などをエス、英、日、韓、中などの言語で多数発表している。